

道標ない旅

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～

令和2年度 第2号
2020.4.20発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682



<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 学校便りにタイトルをつけさせて頂きました。 ◆◆

学校便りのタイトルは「^{しるべ}道標ない旅」です。

この度、学校便りのタイトルを、「道標ない旅」へ変更させて頂きました。学校目標のスローガン「チャレンジ」や「しなやかな心」を踏まえてもいいなと感じています。道標がない場面に出くわしたとき、自らが判断し、自ら方向を見定めて進むことが、「チャレンジ」と「しなやかな心」が必要だと考えるからです。

また、長柄地区の皆様には、この題名はお馴染みになっていると信じております。前任校であった南郷中学校でも同名のタイトルで地域版を配付させて頂いてきました。学校が長柄小学校に代わりましたが、引き続きのご愛顧を宜しくお願い申し上げます。

南郷中の学校便りでも、同じことを紹介いたしました。私の年代の方ならご存じかもしれませんが、1979年永井龍雲という歌手が同名の「道標ない旅」というヒット曲歌っています。インターネット等で、歌や動画が配信されていますので、興味のある方は覗いてみて下さい。

◆◆ 本年度の学校経営方針をお伝えします。方針の3本柱は今年度の南郷中とそろえています。 ◆◆

(1) 新しい時代に必要な資質・能力を育む学校

- 学習における基礎・基本の定着や思考力・表現力の育成を図る
- 小中連携した9年間の積み重ねを見通した魅力ある教育課程を編成する。
- 新学習指導要領に乗っ取ったカリキュラムの編成
- 生活科、総合的な学習の時間の内容整理を通し、校内研究の充実を図る。
- 教える授業から育む授業を通し、新しい時代の学力を育てる授業の工夫改善
- 教職員の授業力・評価力の向上（通知表の改善）
- 道徳教育の充実

(2) 豊かな心を育み、信頼でつながった学校

- 互いに認め合い、感謝する気持ち、人を思いやる気持ちを教育活動全体を通じて育成する
- 児童が互いに影響し合いながら、共に育つクラスづくりの取組
- クラス編成に関する教職員間の共通理解の醸成
- 教育相談コーディネーターを窓口として外部諸機関との連携を密にし、個々の児童に応じた支援の充実を図る
- 生活・学習両面からの支援体制の確立
- 信頼を通して、相談しやすい教師・学校になっていくように努める。
- いじめは絶対に許さないという態度を持って指導や支援に努める。
- 個々の児童の課題や配慮に関する情報共有の工夫

(3) 地域を愛し、地域から愛される学校

- 保護者との連携を図り、家庭や地域の教育力を生かす
- 学校安全（交通安全、生活安全、防災）に関する取組の充実を、保護者・地域と一体となって推進する
- 家庭の教育力、地域の教育力を生かした教育活動の展開
- 学校だよりやHPの活用を通じた保護者・地域への発信
- ※学校関係者評価委員会、教育懇話会、避難所運営委員会の活動を通し、コミュニティスクール化への準備を進めていく。
- 生徒や地域が、そして教職員自身が希望の持てる学校づくり
・組織の見直し ・会議の見直し ・業務の適正化

◆◆ 今年度の重点目標も紹介します。 ◆◆

- (1) 小中連携した9年間の積み重ねを見通した魅力ある教育課程を編成する。
- (2) 生活科、総合的な学習の時間の内容整理を通し、校内研究の充実を図る。
- (3) 互いに認め合い、感謝する気持ち、人を思いやる気持ちを教育活動全体を通じて育成する。
- (4) 教育相談コーディネーターを窓口として外部諸機関との連携を密にし、個々の児童に応じた支援の充実を図る。
- (5) 学校関係者評価委員会、教育懇話会、避難所運営委員会の活動を通し、コミュニティスクール化への準備を進めていく。
- (6) 働き方改革を進め、業務の適正化を目指し、教職員自身が希望の持てる学校づくりを、保護者が納得して下さる形で実現していく。

◆◆ 臨時休校が続いています。日本の状況も全く気が抜けません。感染には気をつけましょう。 ◆◆

4月20日は、4月当初に授業再開を予定していた日でした。ところがどうでしょう、コロナウイルスの勢いは増すばかりで、GW明けの授業再開も難しさを感じて止みません。

今の状況が、正常な学校運営とはかけ離れていることは誰もがみんな分かっていることです。でも、子どもたちが、3月から学校で学習する機会を完全に失なっていることを新年に予想できていた人などいるのでしょうか。

現状は、15日現在、9000人近くの感染者と、180人ほどの死者が報告されていますが、世界は200万人を超えた感染者と、13万人近くの死者が出ているそうです。この数値は日々大きくなり続けているので、皆さんがこの便りを読まれる頃には、もっとすごい数字になっていると思います。そんな中、新型コロナウイルスの感染について厚生労働省の専門家チームが、国内で防止対策が何も取られなかった場合の推計を示し、最悪の場合、およそ41万人以上が死亡すると発表しました。専門家は「感染拡大の防止には人との接触を減らすことが有効だ。外出を極力控えてほしい」と呼びかけています。

そんな状況に陥る可能性すらあるとすれば、米国が学校教育再開の時期を9月とした対応もうなずけます。教育再開どころの話ではありません。休校措置はもっと長引くでしょうし、まわりでそんな多くの方がなくなる医療崩壊の状況に、心を平穏に保つことさえ難しくなるかも知れません。

「外出を極力控えてほしい」という要請を、各家庭ベースでしっかり守ることが大切になると思います。長柄小学校の校庭開放を利用している皆さんの様子は、まだ穏やかに目に映ります。けれども、ゴールデンウィークの頃には、私が始業式で皆さんに求めた、「友だちと遊ぶ」「集団で遊ぶ」ことを控える・自粛することの重要さが身にしみることになっているのではないかと思います。爆発的感染がすぐそこにまで迫っています。

お母様方とお話しをすると、友だちと遊べない子どもたちを不憫に思う声が多く聞かれます。その思いは私も同じですが、友だちと遊ばせるリスクの大きさも忘れてはなりません。今まで出来ていたことでも、リスクは確実に高まっていきます。日本では外出禁止令は出せないと言われますが、医療崩壊が決定的になれば、外出禁止令を出さざるを得ない事態が、目前に迫っていると私は思っています。(はずれてほしいですが・・・)

長柄小学校も、15日から、市中感染リスクの低減のため、6チームに分けての在宅勤務を取り入れ、学校は5～6人でその機能を維持しています。ご自宅への健康確認・学習相談は、週に1回程度を目処に実施しておりますが、電話がつかないと、確認が次週に持ち越されるケースも出てくる場合があるかと思います。個人情報保護の観点で、その場合は何卒ご容赦ください。

5月6日までの学習課題の追加については、4年生で実施しましたように、メールと学校HPでお伝えする予定です。また、5月6日以降も休校措置が続く場合は、地域訪問を実施し、学級便りや、課題をまとめたプリント、実際に取り組める課題プリント等を携え、各ご家庭にポスティングする計画を進めております。ただし、5月6日まで緊急事態宣言下の中、ポスティングは行わないことで町内統一されました。4月中にレターパックにて、学校便り・学級便りや、課題範囲や、課題プリント等を学年でそろえて郵送する予定です。

TVでは、緊急事態宣言が全国に出されました。また、収入減少と家計維持のための外出を押さえるため、国民に対し、一律一人あたり10万円を給付を検討(おそらく実施)すると報じられています。(16日現在)とりあえずこの対応で、国民全体が外出をしなくて、自宅で過ごすことが求められます。

今までは、商売する方々が、「客が減る」となげくシーンや、共稼ぎ家庭が、「保育園が・・・」と心配するシーンなどが度々放映されてきましたが、この給付金で商売や、アルバイト等をせずに、家で頑張れることをしてほしいという国からのメッセージに、今度は各家庭側が責任を持って応える必要があると考えます。もちろんこの話は、事業主さん達への休業補償も必ず必要です。

そうはいいながら、皆さん忘れてはならないのは、家で頑張ることができる人は幸せだということです。家族でそろって楽しく外出する場面こそなくても、不要不急の外出をせず、他者との接触を8割以上削減できれば良いのです。

しかし、その裏では社会機能を維持するため、運輸関係者、食品等を扱うスーパー、ドラッグストア等の人々は働くことが求められます。まして、最大のリスクを負いながら日々懸命に使命を果たされている医療関係者の方々がいることは、絶対に忘れてはならないことです。医療関係者への最大の支援があるとしたら、国民が感染者にならないことです。外出しないことが使命と感じ、責任のある行動を取っていくことが大切だと思います。

身近な方の不幸が起こらない限り、ことの大切さに気付けなかったでは、残念すぎます。判断力・実行力をもって、知恵のある人になることが求められています。



上は児童のいない長柄小学校(4月17日朝撮影)

皆さんの健康を心より祈念いたします。